

事例 No.	97	人口規模	80万人以上	地域ブロック	近畿	事業タイプ	その他	事業主体	その他										
事業名	ニートサポート事業																		
実施地方公共団体名	大阪府																		
特徴・ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・支援拠点となる若者就労自立支援センター(ニートサポートクラブ)を設置 ・ニート対策に取り組むNPO等と連携し、ニートに対して積極的に働きかけを行うなど、そのノウハウを活用 ・臨床心理士等こころの専門家によるカウンセリングを実施 ・職場・就労体験や店舗運営など短期の就労訓練を実施 以上の施策を通じて、ニートの就労意欲の涵養を図る。																		
事業のねらいと内容	<p>【ねらい】 ニート状態にある若者の就労意欲の涵養を図り、JOBカフェやヤングジョブスポット等の就職支援機関につないでいく。</p> <p>【内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>アウトリーチ事業</td> <td>ニートの状態にある若者やその家族に接し、その状況を把握して、適切な相談窓口</td> </tr> <tr> <td>カウンセリング事業</td> <td>に誘導する事業。『NPO法人青少年自立支援施設淡路ブラッツ』に委託。臨床心理士等により、「働くことの意味」や就労意欲の喚起を図るような心理的側面からのカウンセリングを行う事業。</td> </tr> <tr> <td>就労訓練事業</td> <td>規則正しく働く習慣を身に付けるとともに、働くことの意味・喜びを感じてもらい、将来的に継続的就労に繋げるため、短期の就労訓練等を行う事業。</td> </tr> <tr> <td>トライアル訓練事業</td> <td>『財団法人大阪生涯職業教育振興協会(Aワーク創造館)』に委託。専門学校等での体験授業等、自分の適性にあった訓練・仕事を見出すきっかけにするとともに職業能力の向上につなげる事業。</td> </tr> <tr> <td>ニート研究事業</td> <td>ニートサポート事業を効果的に行うため、学識経験者等の助言等を求めることを目的として「大阪府ニート問題専門家会議」を設置・開催する事業。</td> </tr> </table>									アウトリーチ事業	ニートの状態にある若者やその家族に接し、その状況を把握して、適切な相談窓口	カウンセリング事業	に誘導する事業。『NPO法人青少年自立支援施設淡路ブラッツ』に委託。臨床心理士等により、「働くことの意味」や就労意欲の喚起を図るような心理的側面からのカウンセリングを行う事業。	就労訓練事業	規則正しく働く習慣を身に付けるとともに、働くことの意味・喜びを感じてもらい、将来的に継続的就労に繋げるため、短期の就労訓練等を行う事業。	トライアル訓練事業	『財団法人大阪生涯職業教育振興協会(Aワーク創造館)』に委託。専門学校等での体験授業等、自分の適性にあった訓練・仕事を見出すきっかけにするとともに職業能力の向上につなげる事業。	ニート研究事業	ニートサポート事業を効果的に行うため、学識経験者等の助言等を求めることを目的として「大阪府ニート問題専門家会議」を設置・開催する事業。
アウトリーチ事業	ニートの状態にある若者やその家族に接し、その状況を把握して、適切な相談窓口																		
カウンセリング事業	に誘導する事業。『NPO法人青少年自立支援施設淡路ブラッツ』に委託。臨床心理士等により、「働くことの意味」や就労意欲の喚起を図るような心理的側面からのカウンセリングを行う事業。																		
就労訓練事業	規則正しく働く習慣を身に付けるとともに、働くことの意味・喜びを感じてもらい、将来的に継続的就労に繋げるため、短期の就労訓練等を行う事業。																		
トライアル訓練事業	『財団法人大阪生涯職業教育振興協会(Aワーク創造館)』に委託。専門学校等での体験授業等、自分の適性にあった訓練・仕事を見出すきっかけにするとともに職業能力の向上につなげる事業。																		
ニート研究事業	ニートサポート事業を効果的に行うため、学識経験者等の助言等を求めることを目的として「大阪府ニート問題専門家会議」を設置・開催する事業。																		
導入・実施の背景・経緯 (事業の必要性)	ニートが社会問題化する中、多様な問題を抱える若者の存在が徐々に表面化し、JOBカフェ等就職支援機関に至るまでの支援の必要性が明らかになってきた。				導入・実施に際して苦労した点														
事業の効果	支援を求める若者が数多く来所している。 H17.10～H18.12末まで(延べ人数) 利用者数:4,122人 (うちカウンセリング者数:1,926人)				実施にあたってのネックをどのように解決したか														
必要な協力先・実施主体とその確保策	(必要な協力先)多様な若者に対応するための様々な支援機関 (確保策)支援機関のネットワークづくり				<ul style="list-style-type: none"> ・ニートのことを理解したカウンセラーがいない スクールカウンセラー他多方面から人材を探した。 ・ニート支援のノウハウが乏しい ニート支援の専門家による「大阪府ニート問題専門家会議」を設置し支援方策を検討するとともに支援ネットワークの構築を図った。 ・多額な予算の確保 支援ネットワークを構築し、他の機関との連携により対応した。 ・財政当局を含む庁内他部局から事業実施について消極的な意見あり JOBカフェでの事例や親からの話などを示した。 														
概算事業費 (千円/年度) 平成18年度予算	21,415千円 (一般会計のみ)				問い合わせ先		所属部署:大阪府商工労働部雇用推進室労政課 TEL:06-6944-6036 FAX:06-6944-6758												